

2006年6月19日

株式会社ネットディメンション

ネットディメンション、3D オーサリング技術「MatrixEngine(r):マトリックス・エンジン」がクラリオンの欧州北米向けナビゲーションのリアリティあふれる 3D-CG インターフェイスとして採用

株式会社ネットディメンション(本社: 東京都港区、代表取締役社長: 林 徹)の3D オーサリング技術「MatrixEngine(r):マトリックス・エンジン」は、クラリオン株式会社(本社: 東京都文京区、取締役社長: 泉 龍彦)のカーナビ新時代に先駆けた 3D-CG を搭載する欧州北米向けナビゲーション製品に採用されました。

今回採用された「MatrixEngine(r):マトリックス・エンジン」は、既に 1000 人/月以上といわれるカーナビのシステム開発において、画面表現に 3D-CG を使用しながらもオーサリングツールによるデザイナー開発を実現しています。これにより特に従来難易度が高かった 3D メニューのようなインターフェイス開発を大きく前進させることに貢献しています。

リアルタイム 3D 表現による高品質なインターフェイス表現は、限られたタッチパネルのエリア内により多くの情報量を格納し、ユーザーはよりわかりやすく、楽しく扱うことを可能にします。しかしながら一方では従来の 2 次元的表現に比べて、圧倒的な開発工数やデザイン力を要求するため、導入は容易ではありませんでした。

ユビキタスといわれ、様々な領域にモニターなどの画面が利用される時代において、今後より洗練された使い安いインターフェイスは必須となってきております。この度のクラリオンによるカーナビ製品 3D メニューにおけるオーサリング開発は、その先駆けとして注目されます。

クラリオンでは来るべきエンターテインメント&インフォメーション新時代の先駆けとして、人とクルマと音楽の関係をさらに進化させる「Human Mobile Music Media Interface (Clarion H.M.I.)」のコンセプトを策定しました。その一環として、カーナビ大情報量時代に応えるべくリアリティあふれる 3DCG インターフェイスを提唱しています。今回採用対象となったクラリオンの欧州モデル「NAX963HD」は、ドイツの iF デザイン賞(International Forum Design Awards)において、コミュニケーション部門の受賞が確定しています。iF デザイン賞は、ドイツ・ハノーバー工業デザイン協会が全世界の工業製品を対象に優れた工業デザインを選定するもので 1953 年に設立されました。現在、革新性のバロメーターとして世界に最も知られているデザイン賞の一つです。

PRESS RELEASE



NAX963HD



PRESS RELEASE

株式会社ネットディメンションについて

ネットディメンションは、クリエイターノウハウをシステム化し、特に業務用 3D アプリケーション開発にオーサリングツール技術「MatrixEngine®」を展開する日本の開発メーカーです。既に PC の分野では、航空測量大手「アジア航測(株)」などと空間情報提供 3D システムや、大手シンクタンク「(株)野村総合研究所」の医療用 3D コミュニティ、その他、大手メーカーの 3D によるマニュアルや e ラーニング、Web ゲームなど、各種 3D ソリューションに MatrixEngine を供給しています。また 2004 年より、同技術を embedded(組込み)システム向けに展開を始めており、カーナビ、LSI など、各種メーカーとの協業が推進されています。

<http://www.net-dimension.com>

【本件に関する問い合わせ先】

株式会社ネットディメンション

担当： 萬田、上野

E-mail: embedded@net-dimension.com

〒105-0001 東京都港区虎ノ門 5-3-14

日産研会館ビル 1F

Tel. 03-5733-1611 Fax. 03-5733-1619

URL: <http://www.net-dimension.com>